

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

2 期連続 1 位 (6 期目)

ごみ収集の有料制度の動向

町田市は個人のごみ収集を有料化（専用袋を使用）しており、その収集作業を民間業者が参入して行っています。有識者と目されている人の中にも、そのやり方を今の石阪市長が導入したものだとする誤解があるため、改めて議会の質問としました。その決定時期も、実施時期も前任の寺田市長時代からであることを本会議の質問で明らかにしました。

制定当時、私自身もかかわって幼児のおむつを納める袋を無料配布する子育て支援策を同時に実施しました。その後、今の石阪市長の時代になって高齢者世帯に無料化袋を配布するように追加されました。

今後、廃プラスチックの分別、生ごみ類のバイオガス化を進める際に、旧来のように資源物の収集は「無料」、ごみは「有料」の方針で進むのか、あるいは高齢者世帯の無料収集制度を維持するのかを尋ねました。



廃プラや生ごみの分別収集による新資源物に関して、全面無料という方針でないことと、高齢者世帯にごみ収集袋を無料配布する動向は不明であることがわかりました。

私はごみ収集を税金で行なうのではなく、ごみの発生者が収集費用を負担する制度にする

方がよりごみ減量化につながると言う考えに立っています。つまり、町田市が増大する高齢者のごみ収集費用の無料化を継続するのはますます行政の負担が大きくなるか、他の世代が余分に負担するやり方になると考えています。子育て支援策としてのおむつ袋代の無料化を継続する場合を除いて、世代を超えて公平な負担をするのがこれからの時代には必要だとの考えを提示しました。

野津田公園にクワハウスを

請願第 6 号＜第二次野津田公園整備基本計画案について市民意見の結果と懇談会の最終答申を重視することを求める請願＞の委員会審査に関して、請願趣旨はその計画を検討する懇談会の主張が両論併記になっていることで、その協議事項を尊重してもらいたいとするものでした。しかし、行政の見解は、行政機関が最終判断するとの説明でした。

私は、市民アンケートの取扱いについての経過についての行政の考えを尋ねました。その結果、市の HP で一番要望が高かった項目（クワハウス）を否定し、要望が多くないものを取り入れる内容にしていたことが明らかになりました。ここから、「計画の最終判断は行政が行う」という説明に至ったわけです。私は「だったら、こんなアンケートを取っても意味がない、当初のように体協の意見を聞いて行政が賢明な選択をしたと言えだれでもあきらめるのではないか」と迫りました。

関係者の主張があまりにも異なっており、市民アンケートも無視されていることで、私は請願の継続審査を提案しました。各派の事前の意向は不明でしたが、この継続案が多数となり、結論は次回に持ち越しとなりました。

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム

携帯QRコード
でブログ閲覧

研修生レポート ① 渡邊 慧

相模原市内で開かれた「エンジョイカントリーパーティー」の会場に一步足を踏み入れると、そこが日本だとは思えないような雰囲気、まるで映画のワンシーンの中に入ってしまったようでした。ステージでカントリーミュージックが披露される中、小さなお子さんからお年寄りの方々までがウエスタンハットやブーツ等の衣装を身に着け、楽しそうに踊っていました。

を受けるだけではなく、自ら「体験」し、それについて調べたり教えて いただいたりすることで「知識」を増やすことによって、はじめて、自分で「考える」ことができるのだと感じました。これからは視野を広げ、様々なことに対して「体験」し、「知識」を増やし、自分の「考え」を持てるようになっていきたいです。

フェリス女学院大学3年生 渡邊 慧
(吉田つとむ 第34期研修生)

研修生レポート ① 武内 真

インターンシップ参加の際の初の顔合わせの為に、小田急線町田駅にて、初めて吉田議員とお会いしました。将来、企業等に就いたときには人とのコミュニケーションは不可欠ではありますが、残念ながら自分は友人との会話ですらなかなか上手いかず、対話に関してはあまり自身がありませんでした。そうした不安を克服し、社会を上手く渡っていけるようになるために、吉田議員の元でお手伝いをさせていただきつつ、様々な人とお話する機会を得られるべく、今回インターンシップにエントリー致しました。

吉田議員にその旨をお話しすると、まず、コミュニケーションをする際に基本となる「人の顔を見る」ことが出来ているので、苦手に思う必要は無いと言っただけだったので、とても安心しました。まだ社会経験も全くと言っても過言ではないほど無く、礼儀作法もあまり成っていない自分で、今後、始めはかなり厳しい場面もあるとは思いますが、人との関わりを通して吉田議員から色々ご享受いただき、頑張っていきたいと思えます。

明治大学1年生 武内 真
(吉田つとむ 第34期研修生)



(左が渡邊 慧さん、中央は渡辺 梨菜さん)

さて、カントリーミュージックをひもといてみると、それはアメリカ南部発祥の音楽であり、ヨーロッパの音楽やケルト音楽、ゴスペルなどの影響を受けて、1930年代に成立しました。使用される楽器はギター、マンドリン、フィドル、バンジョー、スチールギター、ウッドベース、アコーディオン、ハーモニカなどでありましたが、楽器がない頃には、洗濯板やノコギリなどを使用して、演奏されることもあったそうです。

今回は、私が全く経験したことのないような体験ができた一日でした。教室の中で授業

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.commobile: yoshidaben@docomo.ne.jp